

1 題材名 スリーヒントクイズを楽しもう

2 題材について

本学級は、生徒3名が在籍する。学習についての意欲は高く、特に興味のある内容や得意な教科については進んで学習に取り組むことができる。基本的に自立活動の学習については学年ごとに行っているが、発表や話し合いの活動を行う時には学級全体で学習を行っており、生徒は互いに協力しながら活動に取り組むことができている。気持ちの浮き沈みで授業に集中することが難しい生徒もいるが、個別に言葉をかけたり、事前に個別で準備をしてから学習に臨んだりすることで、学習に取り組むことができる。一方で、自ら原稿を考えて発表をしたり、話し合い活動の中で意見を述べたりする活動については取り組みに時間がかかり、周りの状況や相手の気持ちを考えて言動をするということについては、課題が見られる。

そこで、本題材では、話し合いを通して作問・出題の時に気をつけたいポイントを確認した上でスリーヒントクイズをそれぞれが作成し、互いに出题し合う。グループでルールを確認し合ったり、聞き手に伝わるようにクイズを出題する活動を通して、話し合いや発表の活動において、自分の考えを言葉にして発表したり、相手の話をよく聞いて活動に取り組んだりする能力を身に付けることができるのではないかと考えた。また、クイズという形式を用いることで、発表をすることや互いの発表を聞き合うことに楽しさを見つけることができるのではないかと考え、この題材を設定した。

指導に当たっては、友達が楽しむことのできるクイズを作るということを適宜確認することで、聞き手を意識して発表原稿を作ることができるようにしていきたい。また、普段の活動の中で身に付けた発表をするとき、聞くときのポイントを実践に活かすことができるように練習や準備を進めるよう支援して行きたい。

3 題材の目標

- 友達や教師と関わりながら、ルールを守ってゲームやクイズを楽しむことができる。
- 聞き手のことを考えて、工夫して発表することができる。
- 進んで活動に取り組むことができる。

4 生徒の実態と個別目標

氏名	題材における実態	題材における個別目標
A	・クイズやゲームなどの活動には、積極的に取り組むことができる。 ・気になることや話したいことがあると、状況にそぐわない言動をしてしまうことがある。	○聞き手に伝わるように工夫して発表することができる。 ○場や相手の状況を見て、発言したり相手の話を聞いたりすることができる。 【3－(4)】
B	・意欲的に活動に取り組むことはできるが、分からないことがあるときや話し合いを行う活動のとき、自分から聞いたり相談したりすることは苦手である。	○聞き手に伝わるように工夫して発表することができる。 ○主体的に話し合い活動に取り組むことができる。 【3－(1)】

C	・自ら原稿を考えたり、自分の考えを言葉にして発表したりすることは苦手である。 ・気分が落ち込んでいたり、授業で取り組むことが難しい活動があったりすると、学習の取り組みなくなってしまうことがある。	○友達や教師に伝わるように、教師と内容や表現を確認しながら原稿を書き、発表することができる。 ○教師や友達と関わりながら、活動に参加することができる。 【3－（1）】
---	--	--

5 単元の指導計画

次	時	学習目標	学習内容・活動
1	1	「発表の手順を身に付けよう。」	1 分間スピーチを題材に、発表の時に気をつけるべきことや工夫できることについて話し合う。
	2	「発表に向けて準備をしよう。」	タブレット等を用いて原稿や発表のための資料を作成する。
2	3 (本時)	「スリーヒントクイズを楽しもう。」	準備してきたことや練習してきたことを活かし、スリーヒントクイズを出題し合う。

6 本時の指導（第3時）

（1）目 標

ア 全体目標

- 友達の話をよく聞き、クイズに取り組むことができる。
- 聞き手に伝わるように工夫して発表することができる。

イ 個別目標

- A：場や相手の状況を見て、発言したり行動したりすることができる。【3－（4）】
- B：聞き手に伝わるように工夫して発表することができる。【3－（4）】
- C：教師や友達と関わりながら、活動に参加することができる。【3－（1）】

（2）展 開

学習の内容及び活動	教師の指導・支援と評価（◎評価）		
	A	B	C
1. 前時の学習について振り返る。 2. 本時のめあてを確認する。 スリーヒントクイズを楽しもう。	・授業前に準備物を確認し、円滑に学習に取り組むことができるようにする。 ・これまでの学習の中で発表に向けて準備をしたり練習をしたりしたことを振り返り、本時の活動への意欲を高める。 ・発表するとき、発表を聞くときのルールを再度確認し、意識して活動に取り組むことができるよう促す。 ・授業の展開を黒板に板書することで、見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。		

3. スリーヒントクイズに取り組む。 (1) 教師の発表をモデルに練習したことや発表のルールを振り返り、確認する。 (2) クイズを発表し合う。 (3) 発表が終わったら聞き手側が発表の良かった点を伝える。	・発表の順番を事前に決め、スライドやタイマー等を用いてクイズを進めることで、流れをつかんでクイズに取り組むことができるようにする。 ・相手を意識した発言が出てきたときには賞賛する。		
4. 振り返りをし、次時の活動について知る。 (1) 本時の学習をふり振り返り、ワークシートにまとめる。 (2) 次時の学習内容を確認する。	・質問や回答をする時には挙手してから話すということを適宜確認する。 ・気持ちが昂揚しすぎた時には声かけをし、落ち着いて学習に取り組むことができるようにする。	・発表のポイントを確認し、聞き手が聞きやすいように気をつけて話すことができるようにする。 ・考えがうまく言葉にできないときには、教師側から問いかけをし、自ら考えて発言できるように促す。	・事前に練習したことを確認し、安心して活動に取り組むことができるようにする。 ・活動に参加することが難しい時には、適宜様子を確認しながら教師と共に活動を行うよう促す。
	◎場や相手の状況を見て、発言したり行動したりすることができる。(観察・ワークシート) 【クイズのルールを守り、落ち着いて活動に取り組んでいる。】 ルールや発表のポイントに気をつけて活動することができた。	◎聞き手に伝わるように工夫して発表することができる。(観察・ワークシート) 【練習したことを活かして発表のポイントを意識しながら発表している。】 練習したことを活かして発表することができた。	◎教師や友達と関わりながら、活動に参加することができる。(観察・ワークシート) 【集中して活動に参加している。】 選択式のワークシートにて、「進んで活動に参加することができた。」を選択している。